

公表

## 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	さくら児童デイサービス上倉田		
○保護者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していること	苦情について、対応の体制(担当者、対応時間等)を明示し、対応をしている。また定休日や時間外については、事業所の電話番号から管理者の携帯電話に転送する設定をしており、必ず、連絡が取れる体制を整えている	行政の苦情窓口や第三者機関等の苦情窓口の情報も明示するとともに、メールやラインなどでも苦情の受付ができる体制を整えている
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っていること	保護者様の希望に応じて、事業所でペアレント・トレーニング等を個別で実施している。また、必要と認められれば、外部の研修などの情報提供も行っている	お子様の通う保育園等と連携して、ペアレント・トレーニングの実施状況等を共有し、ご家庭、事業所、保育園等で統一した支援が行えるように調整している
3	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしていること	年一回、必ず保護者会を開催し、懇親会などを通じて保護者様同士で交流する機会を設けている。また希望があれば、時期にとられることなく、テーマに応じた懇親会を開催し、個々の課題や問題点の解決に向け支援している	お父様にも積極的に懇親会に参加していただけるように、父の会を土日に開催する等して、お子様の療育に触れていただく機会を設けていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげられていないこと	現在まで、第三者による外部評価の重要性を認識しているものの第三者委員を受任していただける方がなかなか見つからず、外部評価が受けられないので、業務改善につなげられていない	同じ課題を抱えている事業所と連携し、相互に第三者委員となり、外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげられるようにしていく
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がないこと	感染症拡大防止のため、機会が設けられておらず、また1対1の支援のため、十分な職員の配置ができず、地域の中で他の子どもと活動する機会が得られていない	お子様の通われている保育園等に訪問する等、理解と協力が得られる保育園等との交流を行い、感染症拡大に最大限の配慮を行いながら地域の中で他の子どもと活動する機会を設けていく
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っていないこと	夏祭りなどの行事を開催するも、お子様達の特性上、知らない人との交流が難しく、行事に地域住民を招待する等の地域に開かれた事業運営が図られていない	漢字検定等の検定会場として事業所を地域住民に提供し、検定を受検するお子様と交流する機会を増やす等して、地域に開かれた事業運営を図っていく